

えりもしゃくなげ



教育委員会だより 発行者 教育長 川上松美

えりも高校生学習サポート、嬉しい 小学生への愛情と絆



(7月26日、高校生が学習ボランティア)

平成27年12月、児童の冬休みから始まった高校生による学習ボランティア。高校生の善意で始められましたが、先生同士の校種間の連携に加えて、えりも高生が児童への愛情をもって学習のサポートに取り組みました。

今年度は、夏休みに10名の高校生が小学校の先生方に協力し、児童への手助けをしてくれました。

参加したえりも高校生の感想を紹介します。

2年女子 菊池 唯さん

初めは緊張してうまく話せなかったり、先生方にもたくさん迷惑をかけてしまいましたが、とてもよい経験になったと思います。

私はとても人見知りで、当日はとても不安でしたが、小学生が笑顔で声をかけてくれた時は、とても嬉しくなりました。

今では、一日しか参加できなかったことがとても残念でしたが、将来につながるよい思い出となり、参加して良かったと思います。

3年女子 藤井玲菜さん

私は1年生と3年生を担当しました。私の頃とやり方が多少違っていたのですが、分からなさそうにしている小学生にヒントややり方を教えてあげると、すぐに解いて、教えていて楽しかったです。

休み時間は、1年生と鬼ごっこをやりました。とても楽しかったです。次は冬にもやるということなので、是非、参加してみたいなと思う人がいたら参加してみた方がよいと思います。

夏休みや冬休みの学習サポートは、都会では、退職した先生方がボランティアとして、役割を果たしているケースが多いです。

えりも町では、そのような人材がほとんどないこともあります。そのことが先生方と高校生の信頼関係を深め、また小学生と高校生の触れ合いの機会としてえりも町の特徴となり、素晴らしい取組の一つとなりつつあります。

えりも中、夏休み学習サポート 部活動開始前1時間勉強会



写真は野球部の諸君です。えりも中学校では、授業で学んだことを自分のものにしようと、夏休みや冬休み中、全ての部活動で部活動開始前の1時間、勉強会を行っています。

各部活動の先生方が寄り添い、アドバイスをしたり、生徒の積極的な学習サポートに当たっています。

今年の夏休みには、延べ971名が自主的に集まり学習しました。

生徒も、しっかりと自覚して参加している様子が見られ、学ぶ意欲を見に付けさせる第一歩と考えています。

生徒が自主的に部活動前に集まって勉強をすることが3年前から始まりました。まずは、集まることから始まった勉強会ですが、今年度は、それぞれの部で定着しています。次は、より成果を上げるためどうするかを考える段階です。

えりも高校からの乗り入れ授業



えりも町が進めている中高一貫教育の一つとして、平成26年度からえり高の数学科と英語科の先生が週に2時間、TTとして指導に当たっています。また、体育では高校の体育科の先生の支援で、体力テストを実施し、中高6年間を通して体力向上を目指すため、生徒の運動能力や基礎体力の傾向を理解できる機会にもなっています。

さらに、3年生の3学期に実施する「つなぎ学習」では、各教科の先生が来校し、高校入学後の学習面で課題を抱えないように、中学校の先生と共に授業を実施しています。また、少しでも生徒の学力定着が図られるよう、中高の先生方が知恵を出し合いながら授業改善を図っています。

歴史と郷土愛を学ぶ環境教育



2年生は、中高連携教育の一つである「百人浜植樹事業」に毎年取り組んでいます。日高南部森林管理署等の協力を受けながら、えりもの緑化事業の大切さを学ぶために、講演による学習や植樹体験を実施しています。

植樹では、前半に植樹の土台となる「カミネッコン」の組立作業、後半は百人浜へ移動し「カミネッコン」にシラカバやカツラなどの苗木を入れ、土に埋める作業を行っています。また、美術の授業で作成した名前入りの金属のプレートを1本1本の苗木に付けて植樹します。20年後の百人浜の森、そして海を守るための活動に取り組んでいます。

職業ガイダンスの実施



本校の3年生は、キャリア教育の一環として「職業別ガイダンス」を実施しています。「職業に関する講話を通して、望ましい職業観・勤労観を育て、進路意識の明確化を図る」ことを目的にえりも高校と一緒に実施しています。

今年度は、自衛官、看護/歯科衛生士など、8種類の職業から2つ選び、50分間、専門学校等の方々から説明を受け、職業に関する知識を深めることができました。ガイダンスをきっかけに、将来の職業について、より一層深く考えられるよう、これからの進路指導の充実をめざします。